



横断幕を掲げるギアリンクスの中田智洋社長、水戸の吉原宏太、沼田邦郎社長（左から）＝ケーズデンキスタジアム水戸

岐阜と熊本から支援

○…農産物の輸出入などを手掛けるギアリンクス（岐阜県美濃加茂市、中田智洋社長）は14日、「心はひとつ」のメッセージを容器に印刷した豆腐5千丁を届けた。原料の大豆はパラグアイ産。3月、中田社長が現地を訪れ、東日本大震災の被害を知った日系人から大豆100万丁を提供されたという。計1万丁分を用意し、残り5千丁は28日の鳥栖戦で配られる予定。

万円が贈呈された。熊本選手会やサポーターらが共同募金を実施。義援金は水戸の観戦チケット（約2200人分）に充てられ、水戸は県内の児童養護施設の子どもたちなどを招待する。

熊本サポーター代表、広原圭輔さんからは「サッカー観戦で元気になってほしい」と義援金約56